

## 飲食店における 事業継続のための新型コロナウイルス感染拡大予防対策例

令和2年5月21日  
鳥取県くらしの安心推進課

新型コロナウイルスに感染しないように営業を継続するため、HACCPに基づく衛生管理と同様に、飲食店が実施するサービス等の場面ごとに発生するおそれがある密閉・密集・密接の感染リスクをあらかじめ分析し、対策例を整理しました。

皆さんの施設の状況や実情に合わせて実践してください。

※ この対策例は5月21日時点で作成したものであり、最新の情報に基づき適宜更新していきます。

### 予防方法

- 3つの「密(密閉空間・密集した場所・密接した会話)」がそろう場所を避けましょう。  
3つの条件が揃う場所でクラスター(集団)発生リスクが高まります。できるだけ、3つの条件を避けるなど、感染予防にこころがけましょう。

① 換気の悪い  
密閉空間



② 多数が集まる  
密集場所



③ 間近で会話や  
発声をする  
密接場面



3つの条件がそろう場所が  
クラスター(集団)発生  
リスクが高い!

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には  
消毒などを行ってください。

- 手洗いをしましょう。  
外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などに、こまめに石けんやアルコール消毒液などで手を洗いましょう。  
手洗い方法は裏面を参照ください。

- 咳エチケットをこころがけましょう。  
咳やくしゃみが出る時は、ハンカチや袖などで鼻と口を覆ったり、マスクを着用するなどの咳エチケットを心がけましょう。  
咳エチケットの方法や正しいマスクの着用方法は裏面を参照ください。

## 店舗の営業場面ごとの感染拡大予防対策

## 1 開店準備

- ・従業員に出勤前に体温を測定させ、発熱や咳、咽頭痛等の症状がある従業員は自宅待機させましょう。
  - ▶従業員の体調不良を事前に把握することが重要です。体温測定は必須ではありません。
- ・感染した従業員や濃厚接触者と判断された従業員の就業は禁止しましょう。
- ・開店に備えて網戸のある窓を開けるなど客席及び厨房の十分な換気をしましょう。
  - ▶空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は厨房の換気扇、扇風機なども活用しましょう。
- ・客席を離すなどフィジカルディスタンスを確保できる配席にしましょう。また、対面席を使用する場合はアクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。
  - ▶飛沫感染を防止することが重要です。アクリル板等で遮蔽したうえで同一方向に座っていただくことも有効です。
  - ▶社会に広げないことが重要です。家族等の単一グループにあっては必須ではありません。
- ・食材の搬入、従業員の出入りやお客様の動線は可能な限り分離しましょう。
  - ▶従業員を感染リスクから守ることも重要です。厨房裏口等を活用しましょう。
- ・テーブル、椅子の背もたれ、トイレのドアノブ、メニュー表、呼び出しボタン等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。
- ・従業員は来客用のトイレの使用を控えましょう。
  - ▶接触の機会を減らすことが重要です。お客様とトイレを共有する場合は、これまで以上に手洗いの励行を呼びかけましょう。
- ・従業員やその家族の誤解を招かないように日頃からの確かな情報の共有に努めましょう。

## 2 来店（予約受付）

- ・出前やテイクアウトのサービスも活用しましょう。
- ・フィジカルディスタンスを確保できるよう施設規模に応じた予約制を取り入れましょう。
  - ▶社会に広げないことが重要です。家族等の単一グループにあってはフィジカルディスタンスの確保は必須ではありません。
- ・施設外で来店待ちのお客様が密集しないよう間隔をあけて並んでいただいたり、整理券発行による呼び出しとするなどの対応をしましょう。
- ・発熱や咳、咽頭痛等の症状のあるお客様には来店いただかないよう呼びかけたり、掲示を行いましょ
- ・お客様に、食事中以外はマスクの着用を呼びかけたり掲示を行いましょ
- ・お客様に、来店時に施設内での手指の洗浄や消毒を呼びかけましょ
- ▶正しい手洗いが重要です。アルコール消毒は必須ではありません。
- ・お客様に、会話は控えめにさせていただくよう呼びかけましょ

## 3 席案内・注文受付

- ・開店後は網戸のある窓を2か所同時に開けるなど客席の換気をしましょう。
  - ▶空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は厨房の換気扇、扇風機なども活用しましょう。
- ・他のグループのお客様同士が対面とならないよう、フィジカルディスタンスを確保できる席に案内し、フィジカルディスタンスをとれない場合は、ついたて板等で遮蔽しましょう。
  - ▶社会に広げないことが重要です。家族等の単一グループにあっては必須ではありません。
- ・カウンター席に案内する場合は密着しないように適度なスペースを空けましょ
- ▶飛沫感染を防止することが重要です。フィジカルディスタンスにかわりアクリル板等で遮蔽することも有効です。
- ・接客時にはマスクを着用するなど咳エチケットを実践するとともに、カウンターでも真正面とならないようにするなど、お客様と可能な範囲でフィジカルディスタンスを保ちましょ
- ▶飛沫感染を防止することが重要です。お客様と従業員がともに咳エチケットを実践していればフィジカルディスタンスの確保は必須ではありません。

## 4 調理

- ・厨房は換気扇や網戸のある窓を開けるなど定期的に換気ましょ
- ・厨房内で従業員が密集せず、事業継続できるシフトを決めましょ
- ▶小人数の事業者においては咳エチケットの実施により感染を防ぎましょ
- ・従業員同士であってもマスクを着用するなど咳エチケットを実践ましょ
- ・調理中はこれまで以上に手洗いを励行ましょ

- ・ お客様の手や口が触れるコップや箸などの容器器具は適切に洗浄・消毒しましょう。
  - ・ 個人用にタオルを準備するなど、従業員同士でのタオルや調理器具の共有を避けましょう。
- 5 食事の提供
- ・ 接客時にはマスクを着用するなど咳エチケットを実践しましょう。
  - ・ 箸や取り皿も注文後に提供し、他のお客様が触れられないようにしましょう。
  - ・ ビュッフェ方式や大皿での料理提供は避けて、個々に料理を提供しましょう。
    - ▶ ビュッフェ形式による提供をされる場合は、従業員が取り分ける、あらかじめ小皿に盛り付けて提供するなどの対策を取りましょう。また、社会に広げないことが重要です。大皿での提供は、家族等の単一グループにあっては柔軟に対応しましょう。
- 6 食事
- ・ 客席は、網戸のある窓を2か所同時に開けるなど常時換気しましょう。
    - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は厨房の換気扇、扇風機なども活用しましょう。
  - ・ 横並びに座っていただくなど、フィジカルディスタンスを確保できる配席を呼びかけましょう。
    - ▶ 飛沫感染を防止することが重要です。フィジカルディスタンスにかわりアクリル板等で遮蔽することも有効です。
  - ・ 下膳と同時に新しい料理を提供しないようにしましょう。
  - ・ お客様同士のお酌やグラスの回し飲みは避けるよう呼びかけましょう。
- 7 会計
- ・ 会計待ちでお客様が密集しないようレジ前に立ち位置を示したり、席会計に取り組みましょう。
  - ・ テイクアウトの場合、施設外でお客様が密集しないよう間隔をあけて並んでいただいたり、呼び出し対応としたりしましょう。
  - ・ レジで会計を行う場合は、直接の対面を避けるためにアクリル板や透明ビニールカーテンで遮蔽しましょう。
    - ▶ 飛沫感染を防止することが重要です。お客様と従業員がともに咳エチケットを実践していれば遮蔽対策は必須ではありません。
  - ・ 電子決済を活用しましょう。現金等を扱う場合は手渡しを避け、トレイに置いて受け渡しましょう。
- 8 下膳
- ・ テーブルの清掃にあわせて、椅子の背もたれ、メニュー表、呼び出しボタン等の多くのお客様が触れる部分は、お客様が入れ替わる都度、入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。
    - ▶ 接触感染を防止することが重要です。テーブルクロスの入替え等も有効です。
  - ・ 手すり、ドアノブ、券売機など多くのお客様が触れる部分は、定期的に拭き取り清掃・消毒しましょう。
- 9 営業終了後の片付け
- ・ 明日の営業に備えて、網戸のある窓を2か所同時に開けるなど客席及び厨房の十分な換気をしましょう。
    - ▶ 空気を入れ替えることが重要です。窓がない場合は厨房の換気扇、扇風機なども活用しましょう。
  - ・ 店内清掃を徹底し、テーブル、椅子の背もたれ、トイレのドアノブ、メニュー表、呼び出しボタン等の多くのお客様が触れる部分は入念に拭き取り清掃・消毒しましょう。
  - ・ 白衣等の作業着はこまめに洗濯しましょう。
  - ・ ゴミ出しを行う場合は、マスクや手袋を着用しましょう。マスクや手袋を外した後は必ず手を洗いましょう。
- 10 店舗の管理
- ・ 換気設備を定期的に点検しましょう。
  - ・ 洋式トイレでは蓋を閉めて汚物を流すよう呼びかけましょう。
  - ・ ハンドドライヤーの使用は控えて、ペーパータオルを活用しましょう。
  - ・ ゴミは蓋つきのごみ箱に入れて密閉しましょう。
  - ・ 従業員の控え室等も換気や拭き取り清掃・消毒を徹底しましょう。

# 正しい手洗い・マスクの着用方法

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスク着用を含む咳エチケット」です。

## ①手洗い

### 正しい手の洗い方



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

## ポイント

- ・手洗いの前に爪は短く切って、時計や指輪は外しておきましょう。
- ・30秒間かけて手を洗いましょう。
- ・石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なペーパータオルでよく拭き取って乾かしましょう。

## ②咳エチケット

### 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まる場所でやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する（口・鼻を覆う）

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

### 正しいマスクの着用



① 鼻と口の両方を確実に覆う



② ゴムひもを耳にかける



③ 隙間がないよう鼻まで覆う

<参考> 消毒液の作り方（厚生労働省・経済産業省作成チラシから抜粋）

以下を参考に、市販の塩素系漂白剤（主成分が次亜塩素酸ナトリウムであるもの）を薄めてください。

- ・ハイター、キッチンハイター（花王）  
水 1 L に 2.5 mL（商品付属のキャップ 1 杯）
- ・ブリーチ、キッチンブリーチ（ミツエイ）  
水 1 L に 1.0 mL（商品付属のキャップ 1/2 杯）

※商品によって濃度が異なりますので、商品パッケージやメーカーのHPの説明をご確認ください。

